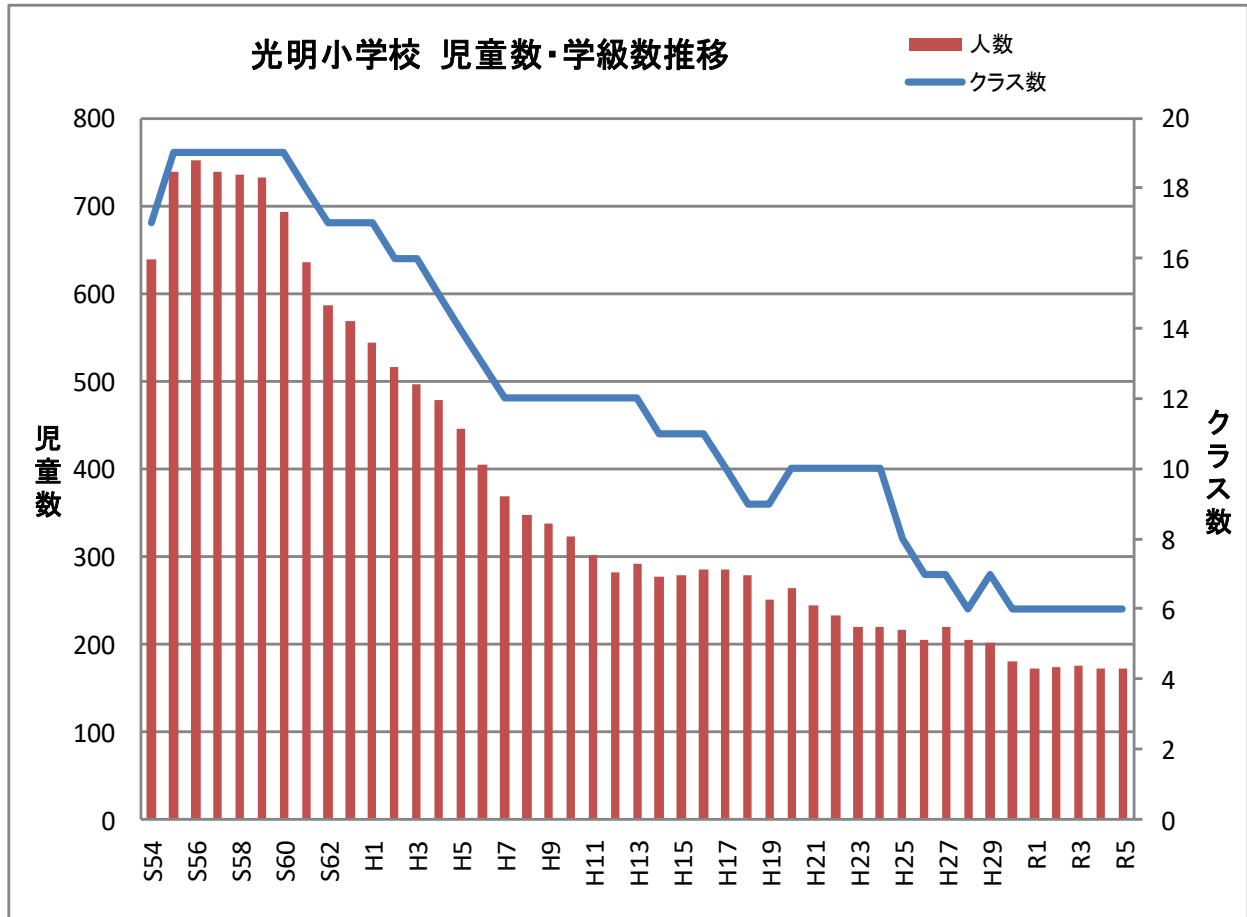


## 光明小学校から進学する中学校について

宝塚市教育委員会

### 1 光明小学校の児童数・学級数の推移



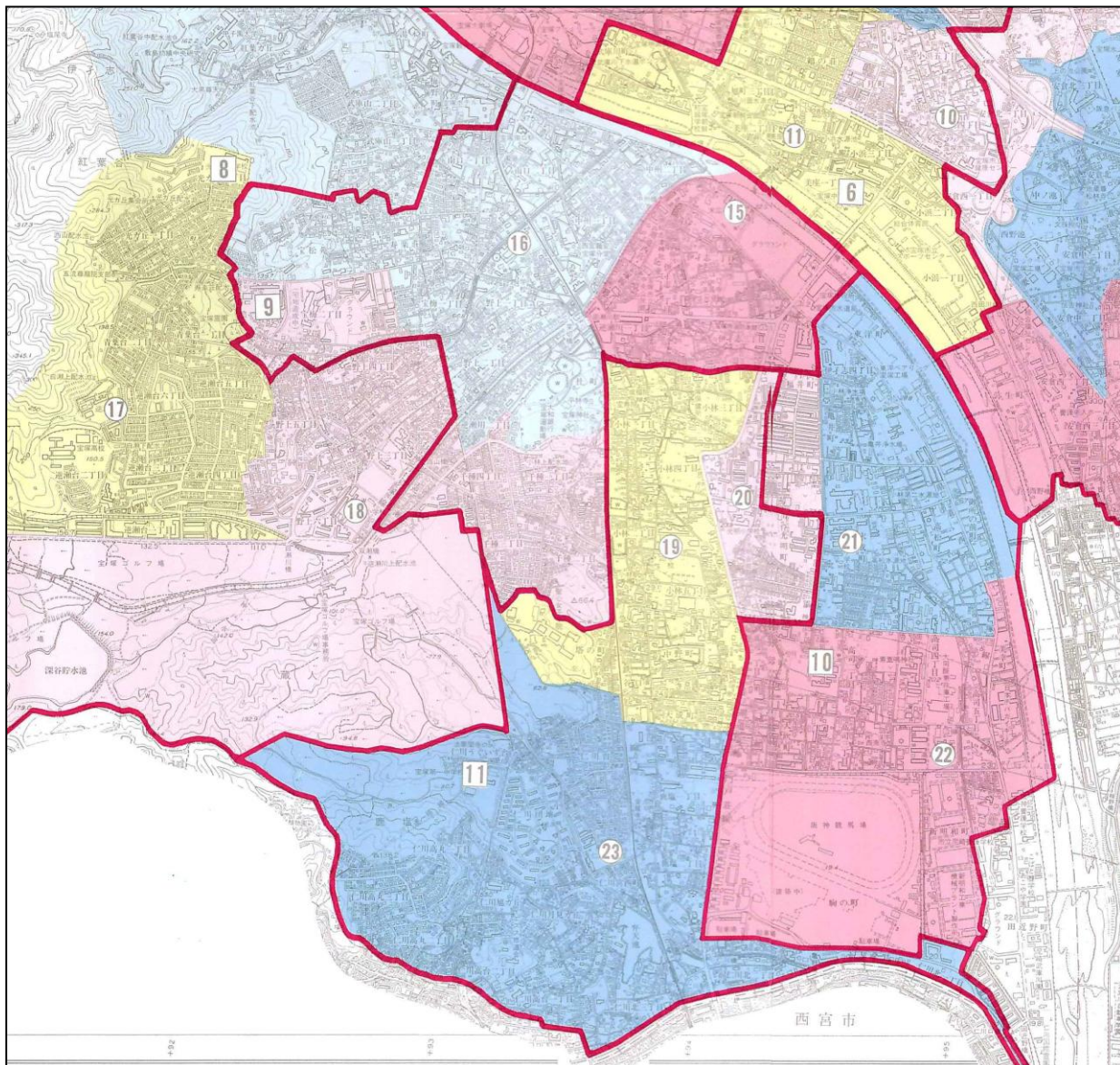
【備考】

昭和54年(1979年) 良元小学校、未成小学校から分離開校

### 2 住民基本台帳による人口

住所	就学前							小学校							中学校				合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計	
								6歳児	7歳児	8歳児	9歳児	10歳児	11歳児		12歳児	13歳児	14歳児		
福井町	6	7	11	16	11	8	59	18	15	6	14	13	10	76	9	7	13	29	164
小林3丁目	0	2	3	0	0	1	6	3	1	1	1	0	1	7	1	1	1	3	16
小林4丁目	4	1	4	2	3	4	18	3	4	5	6	0	3	21	1	5	5	11	50
光明町	18	14	15	16	15	10	88	11	13	14	11	15	9	73	19	16	17	52	213
計	28	24	33	34	29	23	171	35	33	26	32	28	23	177	30	29	36	95	443

### 3 通学区域



### 4 宝塚第一中学校・高司中学校

#### (1) 宝塚第一中学校

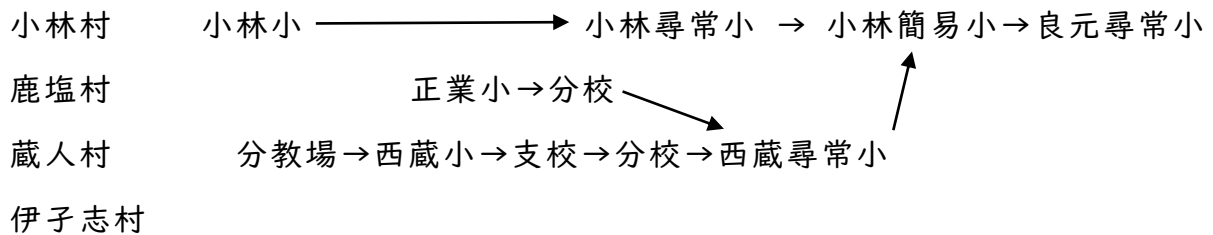
学年	CI	生徒数
1年生	4	144
2年生	4	154
3年生	4	144
計	12	442
特支	3	14
合計	15	456

#### (2) 高司中学校

学年	CI	生徒数
1年生	3	102
2年生	3	100
3年生	3	88
計	9	290
特支	5	33
合計	14	323

## 5 学校の歴史

### (1) 明治期 (明治5年~22年)



### (2) 昭和期

- ①昭和11年(1936年) 宝塚第一小学校 開校
- ②昭和32年(1957年) 仁川小学校 開校
- ③昭和43年(1968年) 西山小学校 開校
- ④昭和46年(1971年) 末成小学校 開校
- ⑤昭和52年(1977年) 逆瀬台小学校 開校
- ⑥昭和54年(1979年) 光明小学校、末広小学校 開校
- ⑦昭和55年(1980年) 高司小学校 開校

### (3) 中学校

- ①昭和22年(1947年) 宝塚第一中学校 開校
- ②昭和36年(1961年) 宝梅中学校 開校
- ③昭和51年(1976年) 高司中学校 開校
- ④昭和63年(1988年) 光ガ丘中学校 開校

## 6 中学校区の変遷

### ①昭和50年(1975年)以前

宝塚第一中学校区

### ②昭和51年(1976年)

高司中学校開校に伴い、光明小学校区全域を高司中学校区に編入

### ③昭和63年(1988年)

光ガ丘中学校開校に伴い、福井町を除く光明町、小林3丁目8、9番、小林4丁目7番を宝塚第一中学校区に編入

## 7 本市の課題

### (1) 少子高齢化の進展

若年層と高齢層の人口割合が2040年頃には1:1に → 公共施設の維持管理

### (2) 学校教育における課題

- ① 児童生徒数減少(少子化)による学校の維持管理
- ② 小中学校間の通学区域の不整合
- ③ 児童生徒数の学校間格差
- ④ 教育制度の見直し(平成28年(2016年)義務教育学校制度の創設)

### (3) 環境の変化への対応

今後一層厳しくなる夏季の高温化による熱中症対策(登下校の負担軽減)

## 8 今後の教育改革

### (1) 小中学校間の通学区域の整合

中学校区を中心とした小学校区の見直し

### (2) 9年間を見通した義務教育の推進

小学校(6年間)から中学校(3年間)に渡った9年間を見通した学校教育(義務教育)を推進する。→小中一貫校(義務教育学校)の検討

## 9 段階的に着手(案)

### (1) 中学校を中心とした小学校の配置

光明小学校全域を高司中学校区に編入するとともに、経過措置を設ける。

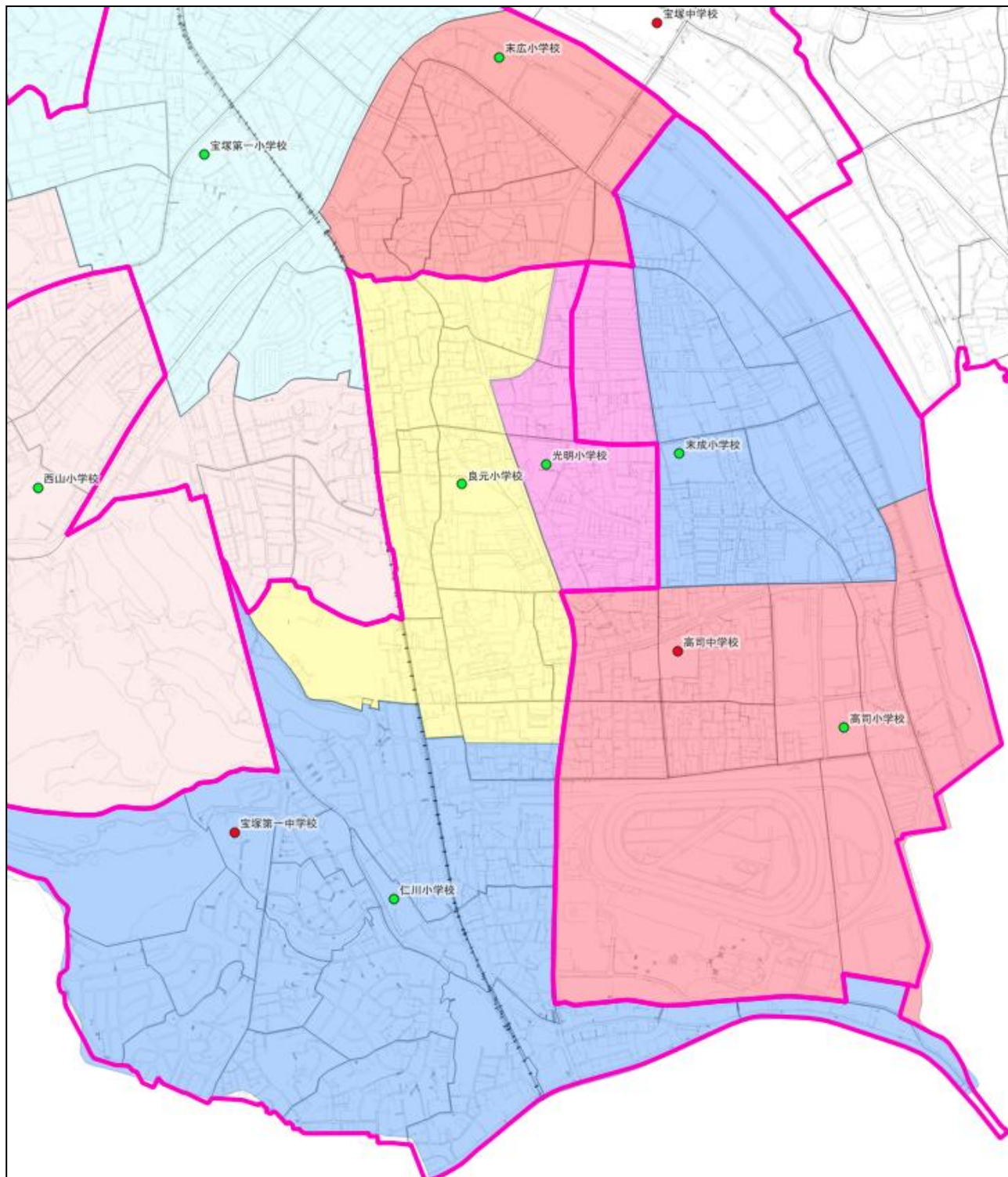
### (2) 経過措置

光明小学校区の進学先中学校について、保護者からの申請に基づき宝塚第一通学校に就学できるよう「就学学校変更」を許可する。

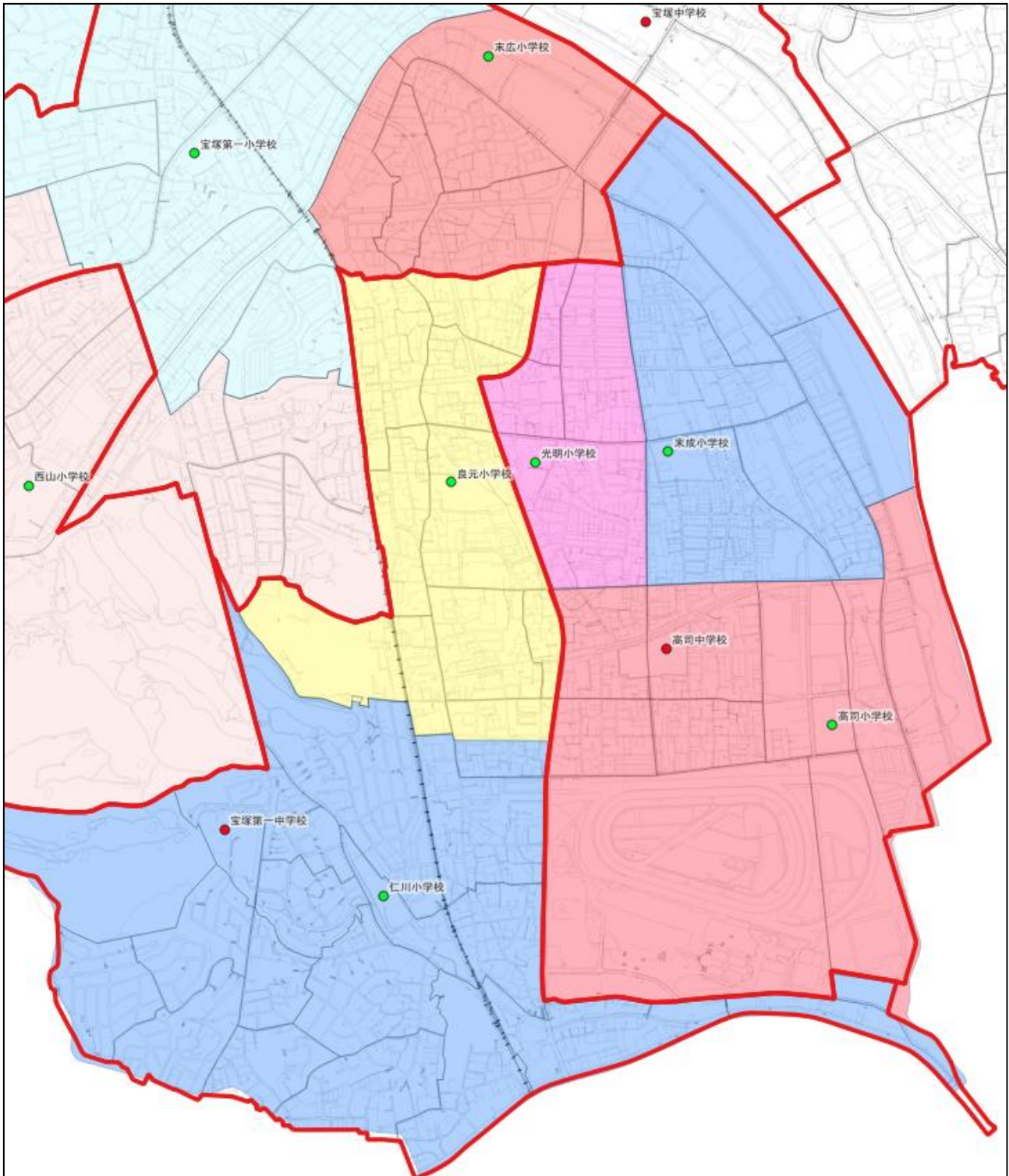
※経過措置の期間は、現在住者に影響が生じない期間を設定

【参考】

变更前



## 変更後(案)



※光明小学校区に在住する生徒の保護者の申請に基づき、宝塚第一中学校へ就学できる  
就学学校変更の適用区域とする。